

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ 設立趣旨書

世界は今、環境の深刻な悪化、貧困や格差の増大など、環境的かつ社会的問題を抱えています。そして、日本を含む先進国の多くで、経済や物質の豊かさが増しても、人々の幸福感はそれに比例して高まってはならず、自殺者の増加や社会的孤立などの問題が起きています。

そのような中で、人々は希望を持って充実した人生を送りたいと願いながらも、将来を想い描いたとき、希望よりも不安を感じる人が多いのではないのでしょうか。

これら環境的問題、社会的問題、精神的問題の3つの問題は、別々のものではなく、深く密接に関連しており、同時にしかも早急に解決する必要があります。しかし、従来の考え方の延長線上で解決しようとしても限界があります。

こうした状態を引き起こしている原因として、現代社会に生きる私たちが、人類が本来持っている様々な「つながり」という感覚を、いつの間にか忘れてしまったためである、と私たちは考えています。

現代社会に生きる私たちには「より多くのものやお金を持っている、より幸せになれる」「経済成長し続けることが、人々の幸せにつながる」といった、言わば思い込みがあります。そのため、出来るだけ多くの利益を上げることや、生産性や効率を上げることのみが優先され、それ以外のことがないがしろにされています。さらには、協力することより他人、他社、他国との競争に勝つことが偏重され、人々は無意識のうちに煽り立てられています。

その結果、私たち人類も生態系の一部、地球の一部であることを忘れ、お互いの「つながり」を考えず、その一部である私たち人間だけの発展が目的となってしまったのです。

これは、個々の欲望を刺激し満足させることを原動力として、発展を遂げてきた現代社会の意図せぬ産物であり、その結果、未来の人類が使うべき資源、現在ともに暮らす多くの人類のための最低限の生活環境、過去に人類が残した自然環境や文化遺産を奪っています。

我が国でも、核家族化や単身世帯の増加もあり、人と人との「つながり」が、ますます希薄になっています。こうしたことの積み重ねの結果、身のまわりや世界の現状について無関心に陥ったり、問題に気がついていても「自分さえよければそれでいい。世の中の問題は誰かが何とかすべき問題」と他者依存に陥ったり、「一人では結局何も出来ない」と無力感に陥ったり、という悪循環になっています。

過去を振り返ってみると、このような問題は私たちの曾祖父母の時代には無かったことでした。かつて私たちは、地縁血縁といったつながりの中でたくさんの人から学びを得ていました。わずか数十年前でも、人々は自然と共生し、お互いに協力し合って生きていたのです。そこには、経済でも物質でもない、目には見えないかもしれないが、確かな豊かさが存在していました。また、現代においても、世界各地には「すべては一つにつながっている」という世界観のもと、自然と共生し、人と人とのつながりに重きをおいた生き方を続けている数々の先住民がいます。

一方、現代社会では科学や情報技術の進歩によって、かつての不治の病が克服できたり、地球の裏側の人とも瞬時にコミュニケーションできるようになったり、宇宙からの地球の姿を見ることができるようになりました。

このような恩恵も享受しながら、人類が本来持っていた世界観や智慧を思い出し、つながりや調和に目覚めた世界市民として共に手を携えていく、という、従来の延長線上とは違う新たな意識を多くの人々が持つことができれば、曾祖父母の時代や先住民の社会の持つ良さと、現代社会の良さが統合され、個人としても社会としても、持続可能で公正で、希望に満ち、充実した未来を実現できる、と私たちは考えています。

私たちは 2009 年 1 月にボランティア・グループ「Pachamama Angels」による活動を始め、同年 4 月に「セブン・ジェネレーションズ」を立ち上げました。アメリカ・サンフランシスコに本部を置く NPO 法人、The Pachamama Alliance との提携のもと、社会教育プログラム「チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム」の開催、日本語版制作、ファシリテーター養成などに取り組んできました。これまでに 60 名のファシリテーターにより、約 80 回、延べ 800 人に及ぶ参加者を動員してきました。

加えて、「チェンジ・ザ・ドリームシンポジウム」発祥の地である、南米エクアドル熱帯雨林ツアーも実施し、現地の先住民アチュア族との交流を通じ、「つながり」や異なる世界観を統合することの重要性について理解を深めてきました。

また、ファシリテーターを中心に、これらの諸問題についての対話の場を持つと同時に、市民の方々を対象として、メールニュースやウェブサイトなどを通じて情報提供や啓発活動を行っています。

私たちは、引き続き、すべての人が環境的に持続可能で、公正で、精神的に充足して生きる社会が同時に実現されるものであるということ、より多くの人々が理解し、意識や行動の変化を促すために、社会教育事業、人材育成助成事業、普及啓発事業、研究調査事業など各種の事業を行い、智慧と力を合わせ、七世代先まで持続可能な市民社会を実現しようとしています。

「速く行きたいときは一人で行け、遠くへ行きたいときはみんなで行け」というアフリカのことわざ

ざがあります。私たちが実現しようとしている世界は、容易に実現できるものでなく、遠い目標であるかもしれません。しかしゆっくり進んでいく余裕もありません。私たちは「速く、遠くまで」行かなければならないのです。

そのため、私たちの目的を実現するには、人材、時間、資金といった様々なリソースが必要になります。個人や団体の営利のためでなく、未来に向けた私たちの目的のために、人々がより広い範囲から集まり、多様なリソースを提供し合うべく、特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズを設立することに致しました。

平成22年8月15日

設立代表者

氏名 赤塚 文彦 印

氏名 塚田 康盛 印